

第2回石鎚山系連携事業協議会 会議録

◆日 時 平成29年11月20日（月）13：00～16：30

◆場 所 西条市役所 5階502会議室

◆委 員 別紙一覧のとおり

◆内 容

1 開 会

2 協議会議事

（1）平成29年度事業中間報告

①サイクリング分科会

サイクリングコース策定

【内容】資料3-①のとおり

【委員からの意見】

●サイクリングマップは紙媒体となっているが、HPやFBに掲載する予定はあるか。

→（事務局）

掲載していく予定である。

●サイクリングコースの設定について、自治体を越えたコースが上級者コース1つになるのか。

→（事務局）

各市町村にまたがるコースが1コース（上級者コース）と各自治体のショートコース設定を考えている。今後、議論をし、追加で設定していくことも考えている。その際には、各市町村間をまたがったコースも検討していきたい。

サイクリングイベント検討

【内容】資料3-②のとおり

【委員からの意見】

●30年度は上級者向けコースのPRイベントと言っていたが、旅行会社やマスコミに上級者コースをPRするのか、自転車関係者にPRするのか、そもそもサイクリングコースのターゲットは上級者としているのか、初級者中級者にも別のPRをしていくのかなど、どのように考えているのか。

→（事務局）

今回のサイクリングイベントとしては、今回のサイクリングコースの売りが上級者コースの「きつい苦しい絶景」としているので、地元はもとより、広範囲に発信していきたい。

②登山分科会

グレーディング調査委託

【内容】資料4-①のとおり

ガイドの在り方検討委託

【内容】資料4-②のとおり

【委員からの意見】

- 登山ガイド等調査の目的に、サイクリングのガイドも含まれるか。また、ガイドの範囲について、どこに居住しているものか、また活動の範囲は。

→（事務局）

サイクリングも含めたい。範囲を広げると経費がかかるため、石鎚山系でガイド活動ができる人で、四国内の居住程度を想定している。

- 求めるガイドの資格は。

→（事務局）

登山では日本山岳ガイド協会の認定資格があり、自然観察であればインストラクターなどの資格があるが、この事業では特に資格等の限定を設けない。利用者が選べるよう、一覧に取得資格などの情報も載せることができればと考えている。

石鎚山系グレーディング調査PRのためのモニターツアー

【内容】資料4-③のとおり

【委員からの意見】

- グレーディング調査PRのためのモニターツアーのターゲットは誰か。

例えば、例えばマスコミ向けか、パワーブロガー向けか。

→（事務局）

グレーディング調査では、大川村の野地峰から久万高原町の堂ヶ森までのロングトレイルのコースを、いくつかに分けて、登山道が整備され、駐車場やトイレがあるルートを初心者向けにPRする予定である。そうしたコースを何回かに分けてモニターツアーを行うよう考えている。

ターゲットについては、検討はこれから行う予定。

① 環境安全対策分科会

石鎚登山道道標実態調査

【内容】資料5-①のとおり

登山道管理状況マップ、一覧表

【内容】資料5-②のとおり

植生に関する勉強会

【内容】資料5-③のとおり

【委員からの意見】

- 愛媛県で登山ガイドが育成をされているという話があったが、愛媛県が実施しているものと連携、この協議会委員の方々との連携を検討してほしい。

→（事務局）

愛媛県及び愛媛県エコツーリズム推進協議会等と連携をしていきたい。

② 企画情報分科会

石鎚山系及び石鎚山系周辺地域の入込客等動向調査

【内容】資料6-①のとおり

石鎚山系魅力発信ホームページ開設及びシンボルマーク等作成

【内容】資料 6-②のとおり

【委員からの意見】

- シンボルマークについて、今回作成するシンボルマークと愛媛県が作成した「縁わく石鎚」というシンボルマークとのすみ分けはどのように考えているのか。シンボルマーク同士が競合しないように、融合できるようにしてほしい。

→（事務局）

「縁わく」のシンボルマークについては以前から言われているところ。協議会については、高知県側がかかわってくるので、今後調整を図っていきたいと思う。

- コンテンツの資源について、人、食等多面的な資源になったらいいと思う。

→（事務局）

課題の認識については、昨年度の WG で認識していたところであるが、難しいところである。課題の認識については、動向調査の結果等を用いて今後さらに協議会内での共通認識を醸成し、考えていきたいところである。

ポータルサイトについて、行政エリアではなく石鎚エリアで認識していきたい。

- このポータルサイトの将来性について意識統一しておいた方がよいのではないかと思います。

→（事務局）

今後の運営については、バナー広告による収入等を検討し、必要であれば運営したいと考えている。協議会ありきではなく、必要事業について継続していけばよいと考えている。

- グルメの開発については、今後女性子供がターゲットとなったときに必要となってくるのではないかと思います。動向調査の結果で浮かび上がることになるか、今後対応していくのか、企画情報分科会の中で検討協議していったほしい。

ターゲットを明確にし、事業を進めてほしい。

ビジターセンター勉強会

【内容】資料 6-③のとおり

広報媒体作成

【内容】資料 6-④のとおり

アウトドア関連企業を活用したフォトコンテスト

【内容】資料 6-⑤のとおり

【委員からの意見】

- 来てもらうための実施（今年撮った写真限定か去年でもいいのか等）をいろいろと検討して実施してほしい。

(2) 平成 30 年度事業の方向性について

【内容】資料 7 のとおり

【委員からの意見】

- 全国的な大型 P R イベントに参加するものの一つの手だと思う。大型 P R イベントへの参加についてもご検討を頂ければと思う。

→ (事務局)

エリア、ターゲットを含めて検討させていただきたい。

- 協議会のすべての事業について、集客、P R、イベントという検討が前面に出てくと思うが、共通の課題としてお客様を受け入れるにあたり、登山道、安全面、アクセス、環境保全についても連携しようというのがこの協議会の重要な所であるので、この思想をすべての事業に反映させていっていただきたい。

- 新しいターゲット、世代を石鎚エリアに迎える時に、安全管理等持続的にやっていくことは大事だと思う。ターゲットを明確にして戦略的に実施していただきたい。

- ハード整備について、ライブカメラの予算計上はあるが、携帯電話の通話可能エリアの拡大、基地の設置助成、また拠点施設での AED 設置（助成）についても安全安心のために実施、検討をしてほしい。

→ (事務局)

AED については、分科会から自治体への提言等により市町村や県と協議したうえで、設置等の検討していきたい。携帯電話については、費用がかなりかかると認識している中で、オフラインで利用できるアプリの使用等での安全対策を検討していくべきなのかと考えているところである。今できる範囲で安全対策していきたい。

- 地方創生推進交付金について、3 年から 5 年への延長の話があったが、大きな方向性として協議会を続けていった方がよいと思う。

- トレイルランニングイベントの実施の可否等しっかり協議をしてほしい。

トレイルランニングは、マナーを守ってしっかりやれば世界で認められている競技であるので、集客面を考えれば個人的には、やればよいと思っているが、この協議会としてイベント実施の可否の結論を出せばよいのではないかな。

→ (事務局)

協議会でメインのターゲットをどのように設定していくか考えていくことで、そのターゲットに合致した事業であるか判断できると思うので、今後そのようなことを検討し、判断していきたいと思う。

トレイルランイベントについては実施したい団体が現れれば、協議会として関わりもってイベントを実施することはできると思うが、本協議会の精神である安全対策、環境保全に配慮してもらうことは必要条件となると思われる。

- 関西からメインでサイクリングできている人はほとんどしまなみ海道へ行っている状況にあるので、石鎚については、関西の客に P R していくことが必要と考える。

登山については、フェリー、バス等の乗り継ぎの問題とか多くある。2次交通の問題は、経常業務として実施することは難しくとも、期間限定でシャトルバスを走らせる等、行政からのサポート的なものがあればうまく回っていくのかもしれないと思う。

サイクリングについては、西条市の石鎚山麓スイートライドと久万高原町の石鎚山ヒルクライムが好評であるときいているので、これらのイベントと協議会との連携があればよいのではないかと思う

→（事務局）

交通の面については、他市との関係等含め、検討していきたい。

- グルメに関して、ターゲット次第にはなるが、予算も含めて、石鎚山系で食べられるグルメ、食の楽しみを検討していきたい。

【採決】

（会長）

先ほど事務局から説明があった「H30 年度事業の方向性」について及び推進交付金の期間を3年から5年に延長することについて、原案に本日皆様からいただいた意見を反映させて、検討したうえで進めさせていただいてよろしいか。

→（委員）意義なし

3 その他

（1）第3回協議会の日程について

第3回協議会は3月中の開催を検討している。後日日程調整をさせていただく。

以上 協議終了 【16：30 終了】